

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【公表番号】特表2011-522939(P2011-522939A)

【公表日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2011-031

【出願番号】特願2011-512945(P2011-512945)

【国際特許分類】

C 08 F 4/654 (2006.01)

C 08 F 10/00 (2006.01)

【F I】

C 08 F 4/654

C 08 F 10/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月29日(2012.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) Ti、Mg、ハロゲンを含み、少なくとも $0.3\text{ cm}^3/\text{g}$ の、水銀法によって測定される $1\mu\text{m}$ 以下の半径を有する孔による多孔度( $P_F$ )を有する固体触媒成分；(B)アルミニウムアルキル化合物；及び(C)ハロゲンが第2級炭素原子に結合しているモノハロゲン化炭化水素；を含む、オレフィンを重合するための気相プロセス用の触媒系。

【請求項2】

化合物(C)が、塩化プロピル、塩化i-プロピル、塩化ブチル、塩化s-ブチル、塩化t-ブチル、2-クロロブタン、塩化シクロヘキサン、塩化シクロヘキシル、1,2-ジクロロエタン、1,6-ジクロロヘキサン、臭化プロピル、臭化i-プロピル、臭化ブチル、臭化s-ブチル、臭化t-ブチル、臭化i-ブチル、臭化i-ペンチル、及び臭化t-ペンチルからなる群から選択される、請求項1に記載の触媒系。

【請求項3】

触媒成分(A)が水銀法によって測定して $0.40\text{ cm}^3/\text{g}$ より高い多孔度 $P_F$ を有する、請求項1又は2に記載の触媒系。

【請求項4】

化合物(C)を、3より高い(B)/(C)のモル比を有するような量で用いる、請求項1～3のいずれかに記載の触媒系。

【請求項5】

請求項1～4のいずれかに記載の触媒系の存在下で行う、エチレンの気相(共)重合法。